

## 平成31年2月分「市民の声」一覧

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月4日	2月19日	<b>沼津市指定のゴミ袋</b> 沼津市指定のゴミ袋がとても薄く、破れやすく不便です。改善をご検討ください。	沼津市指定袋について当市では認定基準を設けており、事業者からの申請により材質や透明度、引張強度等の所定項目の確認を行った上で認定番号を付し、販売用又はレジ袋用の指定袋として認定しており、販売される指定袋の厚さは容量に関係なく0.015mm以上と定めております。現在、ほとんどの市内店舗で販売されている指定袋の厚さは0.015mmとなっております。 環境負荷の少ないゴミ袋の技術開発が進む中、現在の沼津市指定袋の厚さの規格については、他市の指定袋の規格を参考にしつつ、原材料の使用抑制による温室効果ガス削減に効果的なことや低コストによる市民負担の軽減などの理由により定めております。 なお、エース沼津店(大塚)、カインズ沼津店(桃里)、エンチャーハードストック沼津店(松長)、西友松長店(松長)では、厚さが0.025mm等の厚口指定袋も販売されておりますので、ご活用ください。	ごみ対策推進課
2月5日	2月13日	<b>里帰り母子に対するチャイルドの貸出し</b> 遠方から里帰りする母子はたくさんいます。車で来るとは限りません。里へ帰った時の送迎や買い物等の外出には、実家のチャイルドシートのない車を使用せざる得ません。市で貸し出し制度があると助かります。実家へ数日滞在するだけでチャイルドシートを買う事もままなりません。先日白バイは、店先から出て来た私たちを尾行して、違反切符をきりました。どのようにすればよいか聞きましたところ、タクシーを利用するようにと。タクシーとて危険には変わりありません。市民の経済性、利便性を是非考慮したチャイルドシートの貸し出し制度を設けていただきたいと思います。 同じ意見や問い合わせ当市の方へあったと思います。それに対する対策等も聞いたことがありません。 数カ月前に市へ問い合わせ、是非対策をと話しましたが、回答はありません。よろしく願います。	市では、平成12年度のチャイルドシートの着用義務化に伴い、制度の普及・啓発を目的として、チャイルドシートの無料貸出しを実施してまいりました。 しかしながら、チャイルドシートの着用義務化から約10年が経過し、チャイルドシートの有効性が広く周知されたことで所期の目的を達成したことから、平成21年度に貸出制度は廃止いたしました。 チャイルドシートは乳児用、幼児用、学童用と子どもの年齢や体格等、成長に合わせ選ぶ必要があります。また、車の座席、シートベルトの長さ、ロック機能など、取り付ける車との相性もあります。同じ車種でもグレード等によりシートベルトの形状やタイプが異なるため、相性にもばらつきがあります。さらに、チャイルドシートは、車のシートベルトを使用してしっかりと固定し正しく取り付けなければ、安全性が確保できないことから、各ご家庭において取り付ける車両に適合したものを選び、正しく装着していただく必要があります。 チャイルドシートは、お子様の命を守るための大切な道具であり、安全のための補助装置となるもので、お子さんにチャイルドシートの着用をさせるのは義務であることをご理解いただき、お子様の安全を守っていただきますようお願い申し上げます。	地域自治課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月5日	2月13日	<p><b>各地区センターで開催されている趣味サークルの管理、把握、公開</b></p> <p>結論から申し上げますと、沼津市内で〇〇のサークルは、どこの地区センターで、毎週何曜日に開催しており、自分がそのサークルの入会する事が可能かどうかを知りたいです。</p> <p>本日、市役所の総合受付にて、沼津市内の各地区センターで開催されている趣味サークルにはどのような団体があるのか教えて欲しい旨を希望したところ、市役所では管理、把握をしていないとの回答を頂きました。</p> <p>市内の各地区センターまたは各学校等で行われている趣味サークルを沼津市が把握、管理、公開をする事で、市民が参加しやすくなり、結果として沼津市の健康や文化の発展にも繋がると考えます。</p> <p>各サークルの代表者の方の個人情報保護の観点から考えると、連絡先の公開・非公開は代表者の方の意志で決めれば良いだけであり、仮に代表者の連絡先を非公開とする場合、市役所または各地区センターの方が代表者と入会希望者の間に入れば良いと思います。</p> <p>ご検討を宜しくお願いいたします。</p>	<p>沼津市内には中学校単位で18の地区センターがあり、それぞれの地域の方々が友人や知人とサークルをつくり、地区センターに団体登録を行ったうえ、利用されています。</p> <p>このため、基本的には非営利団体の自主的な活動であることから、本市として登録団体を管理することは現在予定しておりません。</p> <p>また、市民の方より、各団体の活動に自分も参加したいとお問合せがあった場合には、各地区センターにおいて、団体の代表者に、会員を募集しているか、連絡先を伝えても伝えてもよいか、など確認の上、団体への仲介をしております。</p> <p>お寄せ頂いたご意見は、地区センターの管理運営に関する協議の場であり、地区センターの指定管理者で構成している地区センター会議での課題とし、検討させていただきます。</p> <p>なお、趣味のサークル活動は、地区センターのみならず、サンウェル沼津や千本プラザ等でも開催しておりますので、興味をお持ちの活動があればお問合せ下さい。</p>	地域自治課
2月5日	2月12日	<p><b>死亡後の手続き</b></p> <p>家人の死亡に伴い、諸々の手続きを、必要な書類を入手するため、市役所に参りました。</p> <p>受付で上記要件を伝えると行くべき係を教えてください、その係へ。この後必要な書類の詳細を教えてください、必要事項ののっている謄本や住民票を入手でき、ありがたく思います。</p> <p>十メするなら、国保や介護保険の手続きも、その係の方がそこにおいて流れ作業的にすすませることができるとあるなら、更に利便性が良いと考えます。</p> <p>他の係や別館に行き、「亡ったので」と同じことを伝えなくても良いはずですか。所用時間も短縮できるのでは？</p> <p>また、記入する用紙が多く、手(指)の不自由な私にとっては苦痛でした。一つのブロックでできると良いのにと感じました。</p> <p>男性職員は以下のような人は見かけませんでしたが、女性職員の服装はなんとかなりませんか？</p> <p>ユニフォームでなくなると数十年前、まるで遊び着のようなくだけすぎたものや、ルーズなもの、モコモコのもの、夏冬共にそう見えます。(特に市民課)</p> <p>公僕であるという古い考えを押しつけるつもりはありませんが、それなりの適した服装、オーソドックスなベーシックなものが、対人の仕事では必要な考え方だと思います。</p> <p>スーツでーとは申しませんが、一考すべき事柄と思います。</p> <p>無記名ご容赦ください。</p>	<p>死亡届を提出された際の手続きについては、お亡くなりになった方によって手続きが異なり、手続きもれや再来庁を減らすために、お客様自身に各担当課の窓口を訪ねていただく方式をとっております。また、各担当課を庁舎1階に配置することで、来庁時の負担を少なくしているところがあります。現時点では、1つの課ですべてのお手続きを完了することができませんが、今回いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきたいと思っております。</p> <p>また、女性職員の服装につきましては、市民課で策定しております「窓口サービス向上マニュアル」に基づく接遇セルフチェックにおいて、「お客様に失礼のない、ふさわしい服装に心がける」という項目をもって、常に反省を促しておりますが、改めて職員に周知し、市民の皆様にご覧いただく窓となるよう努めてまいります。</p> <p>なお、職員の資質の向上を図るための職員研修等の企画・実施をしている人事課におきましても、ご指摘いただきました職員の身だしなみや服装につきましては、公務員としての品位を損なわず節度を保つものであり、市民の皆様にご覧いただく窓となるよう努めてまいります。</p> <p>人事課ではこれまでも各所属長に対し注意喚起を行っておりますが、改めて所属の実践を指導徹底いたします。</p>	市民課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月5日	2月18日	<p><b>NHK大河ドラマ北条早雲の興国寺城</b>  2020年の明智光秀の後に北条早雲のドラマ化を関係市である三島市、伊豆の国市、静岡市、小田原市と共同でNHKに運動してほしい。  興国寺城から展望出来る駿河湾等が全国の方に知ってほしい。  堀越公方館襲撃か〇〇か多比か三浦港かぜひ市長さんが先頭に立ってほしい。  きっと沼津港と共ににぎやかになると思います。</p>	<p>現在、後北条氏ゆかりの地である12市2町(沼津市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、神奈川県横浜市、相模原市、鎌倉市、小田原市、箱根町、東京都八王子市、埼玉県川越市、寄居町、岡山県井原市、大阪府大阪狭山市)では、行政及び観光協会が連携し、「北条五代観光推進協議会」として後北条氏の偉業や魅力を活用した観光事業を展開しております。  ご提案いただいたNHK大河ドラマにつきましても、平成25年5月に開催された総会にて、同協議会の目的のひとつとすることが採択され、毎年NHKへの直接訪問による働きかけや誘致活動を推進しております。  今後も、他自治体及び関連団体と広域的に連携しながら、後北条氏ゆかりの地として歴史や文化を広く全国に紹介し、本市のにぎわい創出につながるよう努めてまいります。</p>	観光戦略課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月8日	2月18日	<p><b>日本モビリティ・マネジメント会議への職員派遣</b></p> <p>余所者ながら失礼いたします。</p> <p>『ラプライブ！ サンシャイン！！』がきっかけで、沼津へたびたび訪れ、以前から僣越ながらたびたび貴市へ意見を申し上げている者です。</p> <p>貴市でも、地域公共交通網形成計画策定のための会議体発足、担当部長の市議会答弁や平成31年度予算案を拝見いたしますと、自家用車に偏り過ぎない、持続性ある公共交通を形成するためのまちづくりが始まると見ております。</p> <p>三島市を除けば、東駿河地区で貴市ほど集約された中心市街地はなく、既存公共交通自体も地区内では充実されているほうですので、その貴市ならではの強みを活かし、市内各地区や市外を結ぶ公共交通ネットワークを強化したり、魅力的な公共交通モビリティや公共交通利用者が回遊したくなるような歩行者インフラ整備等で、クルマ所有の有無関係なしに誰もが住みやすく、貴市にしかない魅力的な都市形成が進み、市が発展いたしますことを大いに期待しております。</p> <p>そういった交通まちづくりを本格的に進めるように見える貴市ですが、貴市も予算案にバスマップ作成で予算を計上しているように、交通まちづくりにはハードだけでなく、市がバスマップや時刻表の配布、アンケートや教育などで市民と積極的にコミュニケーションをとり、市民の意識を変えたり、地図には載らないバス路線を周知することで、公共交通利用を促すソフト政策、いわゆるモビリティ・マネジメントも重要であることは理解されているかと思えます。</p> <p>このソフト政策は一時的なものでは効果がなく、継続的に行うことで公共交通利用が増えたり、新たな公共交通インフラ整備で理解が広がったりするのですが、そういった日本モビリティ・マネジメント会議という年1回行われるシンポジウムで、自治体、交通事業者、民間団体による施策の事例が発表されているのはご存知でしょうか。</p> <p>土木学会の支援を受け、交通事業者や内閣府、京都市や富山市などが会員となり、支えられた一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議が毎年主催して行われているのですが、先述のように自治体や交通事業者、民間団体によるハード施策だけでなく、ハード施策に伴うソフト施策、ソフト施策単体の優良事例が数多く発表され、過去には交通まちづくりの筆頭である富山市や京都市、コミュニティバス導入で成功した明石市、市職員の公共交通利用を増やした豊橋市の事例が賞を受賞しています。</p> <p>今後、貴市も私が解釈したように、交通まちづくりのためのモビリティ・マネジメントを行うということでしたら、今年の7月19日、7月20日に金沢市で行われる、こちらのシンポジウムに公共交通を所管する職員を派遣されてはいかがでしょうか。2日間でさまざまな先進事例に触れられますし、シンポジウムには全国の各自治体、各交通事業者などが集まるようですから、直接コミュニケーションをとり、関係や知識を深めるのも有意義でしょう。</p> <p>貴市の今後の交通まちづくり推進のために、日本モビリティ・マネジメント会議に職員を派遣されたいかがかと思いますが、貴市のお考えを伺えれば幸いです。</p>	<p>本市では、本年度、有識者、市民、交通事業者、関係行政機関とともにワークショップを開催し、公共交通の課題と改善について検討してまいりました。複数のバス事業者によるネットワークが本市の強みである一方で、事業者別の乗場や案内等による分かりづらさが課題となっております。乗場の方面別の集約といったハード政策だけでなく、バスマップの改善や啓発活動等のモビリティ・マネジメントにより利用しやすく分かりやすい環境づくりを進め、公共交通利用者を増やすことでネットワークを維持・再構築したいと考えております。</p> <p>また、先進事例等を学ぶ機会としてシンポジウムやセミナーの重要性は認識しており、有識者から情報提供を受けるとともに、テーマや必要性を吟味した上で、可能な限り参加するように努めております。ご紹介をいただきました日本モビリティ・マネジメント会議につきましても、会議の内容を確認した上で、参加を検討いたします。</p>	まちづくり政策課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月12日	3月1日	<p><b>よさこい東海道</b>            昨年でよさこい東海道を終了したと聞きました。全国から踊り子が集まり、沼津が一番賑わう祭りです。20年以上続けて、沼津の風物詩となり、若い人だけでなく、年輩の方もファンの多いお祭りです。皆さん、元気をもらえると、楽しみにしています。何故終了になったのでしょうか？実行委員が引退するとのことですが、後を引き継いでくれる方達もいると聞いています。沼津をもっと活性化させるためにも、これまで以上に力を入れて、よさこい東海道を継続して頂きたいと思います。</p>	<p>「よさこい東海道」は、中心市街地のにぎわいづくりと商店街の振興を目的として、沼津市商店街連盟が主体となった実行委員会が開催してきたまつりであります。</p> <p>過去22回の開催を通じ、沼津の晩秋の風物詩として市民をはじめ、県外の多くのよさこいファンからも親しまれているまつりであり、中心市街地のにぎわいづくりにも大変貢献していただいていることから、市といたしましても、この活動を評価し、補助金の交付をはじめ、運営面での助言や、まつり当日の会場整理など、様々な支援を実施してまいりました。</p> <p>しかしながら、まつりが盛況となるにつれて、規模が拡大し、安全面の確保が難しいことや、当初の目的の希薄化などの理由により、現在の実行委員会による「よさこい東海道」は終了すると伺っており、市としても、その実行委員会の苦渋の決断を大変重く受け止めております。</p> <p>現在の体制による「よさこい東海道」は終了となりますが、「よさこい東海道」は、当初から商店街や市民の有志の方々が主体となって開催されてきた「市民主体のまつり」であり、来年度の開催を目指して、市民の有志が動き出したと伺っております。市といたしましては、市民のこうした動きを見守ってまいりたいと考えております。</p>	商工振興課
2月12日	2月28日	<p><b>カラス対策</b>            カラスのゴミあさりにごまっています。ネットを引張り生ゴミを散ちらしています。カラスの数を減らす対策をしていますか。私が東京目黒区で見聞したことを書きます。目黒区のバイパス陸橋などの橋桁のすき間などにカラスがハリガネハンガーで巣を作り卵を産んでいます。役所が高所作業車で巣を落し卵を割っていました。市ではどのような対策をしているのでしょうか？お知らせ下さい。</p>	<p>本市のカラス対策についてですが、山間部において農作物被害の削減を目的とした捕獲及び銃による追払いを実施しております。</p> <p>数を減らす対策としては、捕獲による個体数の管理が考えられますが、市街地(ゴミ捨て場付近)につきましては、捕獲の実施が困難なことから「市民の方からご連絡をいただいですぐに現場に赴く。」という、事後的な対応が主になっております。</p> <p>カラス被害に関するご意見が毎年寄せられることから、色々な勉強会への出席、専門家や研究センターへの照会等により情報収集に努めているところですが、各機関においても有効な対策が確立されていないのが現状です。</p> <p>今後も継続して情報の収集・共有に努め、有効と認められる対策を講じていきたいと考えております。</p> <p>なお、ごみ集積場所をきれいで清潔に使っていただくため、市ではごみ集積場所を整備する自治会に対し補助を行っております。最近、折りたためるタイプのごみかごがカラスやごみの飛散に効果があつたという声が聞かれ、多くの自治会がこのかごを導入しています。</p> <p>今後も自治会等にご補助制度を利用していただき、ごみ集積場所の整備を一層進め、環境美化の推進につながればと考えております。</p> <p>また、市民一人一人がごみの適正分別・適正排出を行っていただくことが何よりカラスの餌にならないための得策だと考えております。</p> <p>ごみの出し方の基本三原則「1.決められた日に 2.決められた場所へ 3.決められたものを」を守っていただきますよう今後とも啓発活動に取り組んでまいります。</p>	農林農地課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月14日	3月6日	<b>公園の砂場</b> 公園の砂場にカバーをつけてほしい。 砂場にイヌやネコのフンが落ちていて子どもを遊ばすことができない。最近他県から引っ越しをしてきたが、以前の県ではカバーがついており、安心して遊ばすことができた。 改善をよろしく願います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 現在、沼津市の都市公園には、81箇所の砂場があり、今年度は自治会からの要望を受け、5箇所の砂場にネットカバーを設置しました。 カバーをつけるメリットとしては、猫等の動物によるフン害を軽減させることが挙げられますが、毎回カバーをかけることが手間になり遊びづらくなるなどのデメリットもあることから、公園を利用される方々のご意見等を取り入れるため、カバーは自治会からの要望により設置しております。 今回の件につきましては、公園を利用される方のご意見としてこちらから自治会に相談させていただき、カバー設置の要望がございましたら設置をさせていただきます。	緑地公園課
2月21日	3月5日	<b>鹿の捕獲、駆除</b> 柳沢と青野の境の高橋川付近に鹿が頻繁に出没しています。通学路でもあるので一度現地の確認や聞き込みなどしてほしい。事実とわかったら捕獲や駆除を考えてもらいたい。	ご連絡いただきありがとうございます。 当課鳥獣担当職員及び当市が雇用する沼津市鳥獣被害対策実施隊員(以下「実施隊員」という。)により高橋川付近(水田地～山間部まで)の出没状況を確認させていただきました。 この日(平成31年2月21日15:30頃)は鹿に遭遇することはありませんでしたが、出没しやすい環境であることが確認できました。 今後は、実施隊員によるパトロールを継続的に実施するとともに、猟友会とも連携しながら必要に応じて捕獲活動を実施していきたいと考えております。	農林農地課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月22日	3月4日	<p><b>骨髄移植ドナー助成制度</b>  先日の池江璃花子さんの件で、骨髄バンクへの関心が高まっておりますが、静岡県は登録者数で全国47都道府県中41位という話も聞きました。  その理由として、ドナーへの助成制度が整っていないのも理由のひとつと思います。  国会でも骨髄ドナーへの環境整備を進めると言っていますが、現在、静岡県では静岡市、清水町、富士市、富士宮市の4つの自治体のみが助成制度があるようですが、沼津市は現在どのようにお考えでしょうか。</p>	<p>骨髄バンク事業につきましては、白血病などの治療困難な血液疾患の治療向上を目的に、公益財団法人日本骨髄バンクが、日本赤十字社、県等との協力により実施しているもので、静岡県のドナー登録者数は、平成31年1月末現在、目標9,000人に対し8,938人となっております。日本骨髄バンクのまとめによりますと、登録者数では全国17位であるものの、対象者人口千人当たりの登録者数では、ご指摘のとおり全国44位と低い数字となっております。  本市におきましては、保健センターへのパンフレットの配架や、成人式におけるパンフレットの配布などにより、骨髄バンク事業の普及啓発に取り組んでおります。  水泳競技・池江璃花子選手の白血病発症のニュースや、俳優・木下ほうかさんのテレビコマーシャルで、骨髄移植やドナー登録が注目されており、骨髄バンク事業の更なる普及啓発に努めていく必要があるものと考えております。  お問い合わせの骨髄ドナーへの助成制度につきましては、国や県の動向を注視しつつ、先進自治体の事例について、登録していただける方や骨髄移植件数の増加に結び付く効果的な制度となっているかなど、調査・研究に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	健康づくり課
2月26日	3月19日	<p><b>図書館の蔵書</b>  図書館の蔵書(雑誌)として、「食べ物通信」を、2019年4月より常備してほしい。</p>	<p>図書の購入につきましては、定期的を実施しております選書会議において、多くの人々に偏りなく読んでいただけるかなど、様々な観点から慎重に協議を重ね決定しております。  御希望の雑誌につきましても、選書会議に諮り、類似雑誌との比較考量や他のジャンルの雑誌とのバランス等を含め、慎重に検討したいと考えております。  なお、当館では、食べもの関係の雑誌は「栄養と料理」「NHKきょうの料理」をはじめ、いくつか所蔵しておりますので、ぜひご利用ください。</p>	図書館

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月27日	3月11日	<p><b>広報ぬまづ</b></p> <p>ここ数年、広報ぬまづ、Instagram、Facebookと広報ががんばっておられるとおもいます。</p> <p>広報ぬまづは読みやすくなったと感じますし、PR度高いです。ThisIsNUMAZUの特集などちょっとした雑誌レベルだと感じます。市民として誇らしく思います。</p> <p>行政への意見は「ノイジーマイノリティ」「反対派」といった批判的な意見ばかりが集まりやすい傾向にあると思いますが、それはほんの一握りの意見でしかない場合が多いと思います。</p> <p>もっと評価をする意見も市民から出していくことで市役所の方々が働きやすくなると思います。これは市民としての反省です。</p> <p>これからも沼津市のPR、明るくなるお仕事よろしくお願ひします。</p>	<p>この度は沼津市の情報発信に対し、お褒めのお言葉を頂きましてありがとうございます。</p> <p>広報広聴課では市政情報はもちろんのこと、市民の皆さんの身近な情報や沼津ならではの話題をわかりやすく、親しみやすい表現で皆さんにお伝えできるような工夫に努めております。ご指摘がありました12月1日号広報ぬまづの特集「THIS IS NUMAZU」では、イベント当日だけではなく、沼津で過ごす毎日を盛り上げたいと思う主催者の想いを市民の皆さんにお伝えすることを心掛けて制作したものです。</p> <p>今後も「誇り高い、元気なまち沼津」に向けて、市民の皆さんが楽しく元気になれるような情報発信に努めてまいります。</p>	広報広聴課